

稲作だより

～第5号 移植後の管理 編～

きめ細やかな水管理とワキ対策で初期生育の確保を!!

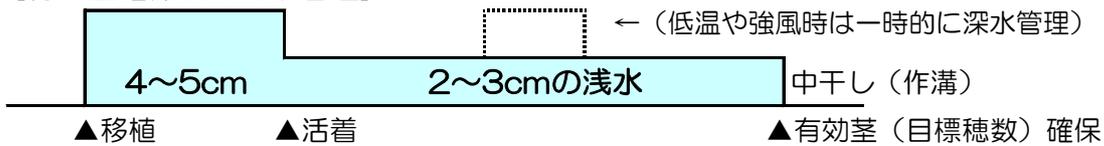
5月29日発表の東北地方の1か月予報（5月31日から6月30日）では、向こう1か月の気温は高くなる予報です。浅水管理で茎数を確保しつつ、ワキ対策についても留意しましょう！

1 天候に合わせた水管理で分けつ促進！

○初期生育確保のための水管理

- ・活着後は水深2～3cmの浅水管理とし、分けつの発生を促します。
夕方または早朝に灌漑し、日中は止水して水温を高めましょう。
- ・低温・強風時は水深4～5cmの深水にして稲体を保護します。

[有効茎確保までの水管理]



○除草剤散布時の水管理

- ・止水中のワキを防止するため、除草剤散布前にあらかじめ水交換を行きましょう。
- ・散布時の水深は、粒剤・フロアブル剤で3～5cm、ジャンボ剤・豆つぶ剤で5～6cmを目安にします。
- ・除草剤の効果を安定させるため、散布後7日間は止水を行きましょう。

○ワキ（土壌の異常還元）対策の水管理

- ・ワキ（土壌が還元しガスが湧き、根が酸素不足になる）の発生は、根を傷め、生育を停滞させます。
- ・次表を参考に、暖かい日の夜間に落水し、新鮮な水と交換しましょう。

表 ワキの程度と対策

| ワキの程度 | 生育への影響 | 対策 |
|---|----------------------|----------------------|
| 足で踏み込むと、気泡が多く発生 | 根の活力低下 | 速やかな水交換 |
| 足で踏みこむと、盛んに気泡が発生 | 根張りの不良 | 速やかな水交換、夜間落水 |
| 晴天時に自然に気泡が発生 足で踏み込むと、著しく気泡が発生 悪臭がする | 根の伸長阻害、 葉の黄化、生育停滞 | 夜間落水、 曇天日に2～3日の落水 |

- ・高温が続く場合はワキが強まりやすくなります。
2～3日おきに用水の入れ替えを行い、根に酸素を供給しましょう。

2 病虫害防除は早期から

○いもち病対策

- ・置き苗は葉いもちの元凶です。すぐに撤去しましょう。
- ・育苗箱施用剤を使用していない場合は、早めに予防剤を施用しましょう。



○斑点米カメムシ類対策

- ・斑点米カメムシ類は、水田周辺の畦畔・農道等のイネ科雑草で増殖します。 継続して草刈りを行い、斑点米カメムシ類の増加を防ぎましょう。
- ・アカスジカスミカメはイヌホタルイ等のカヤツリグサ科植物やノビエで増殖します。水田内にこれらの雑草が繁茂すると早くから斑点米カメムシ類を水田内に呼び寄せる原因になります。水田内の雑草のとりこぼしが無いように、遅れずに除草剤を施用し、必要に応じて残存雑草対策を行いましょ。



出穂前のホタルイ



出穂したホタルイ



出穂前のノビエ



出穂したノビエ

スマートつや姫で圃場の生育をチェック！

作業適期カレンダーは「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」

「コシヒカリ」「ひとめぼれ」「あきたこまち」に対応

ID・パスワードは普及課までお問合せください



モバイル版



PC版

北村山地域の稲作情報を配信しています。

アクセスはQRコードから



やまがたアグリネット



LINE

☆春の農作業事故防止啓発運動展開中（4月1日～6月10日）

あせらず、ゆとりを持って農作業をしましょう。周囲の方にも、声掛けを！

☆熱中症に要注意!! 作業前・作業中の水分補給とこまめな休憩をとりましょう。

☆6月より、労働者を雇用するすべての事業者は、労働者への熱中症対策が義務付けられます。